

広報えひな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市国分155
☎ (0462) 31・2111



子供たちは親とのふれ合いを求めています

62年版青少年白書から



情報化社会の進展などで、家庭を取り巻く環境が大きく変化してきています。また、核家族化や女性の職場進出など、家庭のあり方そのものも変わっています。今、子供たちは家庭に何を望み、親は子供たちとのどのように接しているのかを【昭和六十二年版青少年白書】(総務省)を通して紹介します。

家族の会話が重要

家庭の環境やあり方が変わってきた中で、親子相互の信頼関係に基づく円満な家庭生活を実現するにはどうすべきか

【青少年白書】では、親子間の対話を中心とした「コミュニケーション」の重要性を指摘しています。

▶父親が子供の相手を積極的にしているか



父の態度は調査によると、四十五年に「家庭優先型」三四・九・六%、「仕事優先型」三四・九

%だったのが、六十年にはそれ

ぞれ五三%、二二・二%と変わ

っています。

母親については、

「家庭専念型」五六・九%、「家

庭優先型」三八・一%となつて

おり、親とのふれ合いを望んで

いる子供たちが多いことがわ

ります。

また親の側も、親子の話し合

いが行われている家庭ほど家庭

生活は満足している親の割合が

高いとなっています。

しかし、家庭の現状は、雇用

者比率の増大、テレビなどの情

報機器との接觸時間の増加で、

親子の共通体験や家族のふれ合

いの機会が少なくなっています。

親子そろっての団らんでは、

「云バード、スーパーへ買物に

行く」「テレビを見て話す」とした

り地域の活動に参加するなど、

積極的にふれ合いの機会を持つ

ことが重要となっています。

父親も積極的に

父親が子供の相手を積極的に

いるかの調査によると、

多くの親が「テレビを見たり話す」と

多い、一緒にスポーツをしたり

地域の活動に参加するなど、

積極的にふれ合いの機会を持つ

ことが重要となっています。

また、父の自由時間(休日)の過

ぎ方でも、子供とふれ

合う時間が多いため

親子のイメージが高まっています。

◎「口うるさく勉強や成績

のことで、どちらが「口うる

さく言う」と思っているか父

親…一八・二%、母親…四八

%、母親…四七・五%

◎「口うるさく勉強や成績

のことで、どちらが「口うる

さく言う」と思っているか父

親…一八・二%、母親…四八

・親

自由時間をどう過ごすか

子

▶父親の休日の過ごし方



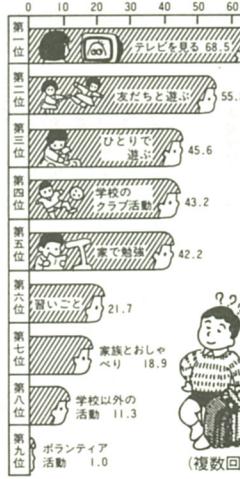
自分の趣味に時間
を費やすのがトップ

父の休日の過ごし方を見る
と、家族と外出したり、家の中
で一緒に過ごす人もいますが、

やはり「自分の趣味」に時間を
費ねば父親が多いようです。

これではひとり遊びの目立つ
子供とお父さんが接触する時間
は、ますます少なくなってしま

▶子供が放課後にすること



ひとりで遊ぶ
青少年が多い

小学生(高学年)と中学生に、
「放課後、何をしていますか」

と聞くと「テレビを見る」が第
一位、「ひとりで遊ぶ」が第三位
となっています。家中の中でひと
とで遊ぶ青少年が多いことがわ
かります。

と聞くと「テレビを見る」が第
一位、「ひとりで遊ぶ」が第三位
となっています。家中の中でひと
とで遊ぶ青少年が多いことがわ
かります。

子供からみた 父母のイメージ

この理解度について、どちらが
の理解度について、どちらが

このように、母親の数字が
すべて父親を上回っており、
母親の家庭に対する影響力や
存在感の大きさがががえま
す。

昭和63年5月15日

広報えん



好評だった植木の即売会

1万2千人が来場
中央公園で緑化まつり

身近なみどりを守り育てよう
泉木会の日本画・水墨画展

1万2千人が来場

と、第四回「海老名市緑化まつり」が、四月二十三、二十四日の両日、海老名中央公園で開かれ、一万二千人の来場者でにぎわった。

会場では、サツキの苗木・花の種子・肥料のプレゼン、県立有馬高校による吹奏楽の演奏とミニSL乗車会も行われ、これらが大好評。SL乗車会には、子供たちの長蛇の列ができるほどで、家族連れでまつりを楽しむ姿が目立った。



芝生の上で楽しい昼食

と、第四回「海老名市緑化まつり」が、四月二十三、二十四日の両日、海老名中央公園で開かれ、一万二千人の来場者でにぎわった。

会場では、サツキの苗木・花の種子・肥料のプレゼン、県立有馬高校による吹奏楽の演奏とミニSL乗車会も行われ、これらが大好評。SL乗車会には、子供たちの長蛇の列ができるほどで、家族連れでまつりを楽しむ姿が目立った。

みんなさんの声
こ協力に感謝

三月六日、河原口児童館で開きました「たんぽぼの会一同

は、緑化の推進に役立つ

みんなの声
こ協力に感謝

海老名市緑化まつりに参加して、多くの人々が協力をしてくれました。特に、海老名市議会議員や、海老名市議会議員の皆様が、緑化の推進に役立つ



「海老名むかしばなし」有料配布中

海老名のタニシ(第3集)より

会場では、「海老名むかしばなし」第三集(A5判、上製本カバー付)を有料(一冊五百円)で配布しています。この第三集は、「広報えん」に連載中の「海老名むかしばなし」のコマーニーに掲載された五十三話を作編集したもので、また、台わせで第一集も復刻し配布しています。ただし第二集は品切れています。希望の方は秘書庁報課へ。

フォトピックス

家内安全を分析する

上今泉3丁目で地蔵祭

家内安全や豊作、長命をかなえてくれるお地蔵様の大祭が四月二十四日、上今泉3丁目の中津(かけ)地区で行われた。

この岩船地蔵尊は、約二百六十年前、大飢饉や疫病で亡くなられた人々のためのいのちを折り立てられた。以後、定期的に大祭(念仏供養)が行われ、平和な日々が続いたと言いつづけられている。

約三十年ぶりに復活した大祭には、三百人を超す地元住民が参加し、説教の中一人ひとりが高さ約九十センチの石仏に蠟香を供え。楽しく平和な日々を祈願した。

その後、「平和な日々」と、近い将来の交流から、近くの広場でカラオケ大会などを行い、親睦を深め合った。

泉木会の日本画・水墨画展

力作34点を展示

四月二十日から二十四日まで

の五日間、泉木会(大賀明会長、市主催の老人趣味の教室「日本画」の受講生が作ったOB会で、四年前に発足。画家の横畠泉甫さんの指導で毎月二回、市総合福祉会館に集まり腕を磨いており、この絵画展は今年で三回目。

力作ぞろいの展示作品

と、第四回「海老名市緑化まつり」が、四月二十三、二十四日の両日、海老名中央公園で開かれ、一万二千人の来場者でにぎわった。

会場では、サツキの苗木・花の種子・肥料のプレゼン、県立有馬高校による吹奏楽の演奏とミニSL乗車会も行われ、これらが大好評。SL乗車会には、子供たちの長蛇の列ができるほどで、家族連れでまつりを楽しむ姿が目立った。

その後、「平和な日々」と、近い将来の交流から、近くの広場でカラオケ大会などを行い、親睦を深め合った。

老僧は、狐の靈がのり移つている娘に向かって説き聞かせた。

「祟られる身も祟る身も、共に苦しむ無限界。このままでは永劫に境界の苦しみから脱出するにはできないだろ。不動明王の大慈悲と、絶対に行うべし。狐はその素性を語り始めた。

老僧は、狐の靈がのり移つている娘に向かって説き聞かせた。

「生あるものが滅する世の定め。己の知恵の足りぬため機を失って逃げ遅れ、命を失なつたのであればこれはほんのうらみは残るまいが、遺うしてもできない子を抱えて逃げるも隠れてもできない親子に、煮え湯をかけたその所業はどうせどうらうんでも憎んでおるるものではない」

「代々当家の末娘に祟り続けてきたが、この娘が六歳のとき、高貴な方と許嫁になつた。位を得て身分が高くなつてからでは近づき難いので、いかにもしてこれを破縁に不幸の淵へと追いやられ、なんばかり打つて荒れ狂つた。やがて

春の1日を満喫
昼食を楽しむつづけ

四月二十八日、市内の通り暮らしのお年寄りを招いて、お年

の石仏に蠟香を供え。楽し

く平和な日々を祈願した。

その後、「平和な日々」と、近い将来の交流から、近くの広場でカラオケ大会などを楽しんだ。



楽しく平和な日々を祈願

第184話
代々崇つた
狐の怨霊(下)
その十四

いたが、それは彩色された天女に透かし彫りのようにならなかった。

や。狂人の怪力では、知者も聖者もいかなる芸芸の達人でも打つ手はあるまい。

「従う者どもよくな聞け。前代にも末娘に祟り、寒中といえども衣服をまとわせなかつた。年々ひくなつても着せれば必ず脱ぎ捨てて裸で狂叫びしきに、とうとう座敷に閉じこめられて花咲く春が外れたようすに両の振り袖がはらりと垂れ下がつた。

解脫の印を結び何度も九字

を切っていた老僧が、欄間に

下りていったが、乗り物に向かって

う見苦しきに、と、とうとう座敷に閉じこめられて花咲く春が外れたようすに両の振り袖がはらりと垂れ下がつた。

解脫の印を結び何度も九字